

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(749)2244
担当部課名	生涯学習部	相模大野図書館	奉仕	係
事務事業名	マルチメディア情報サービス経費		事業コード	15110

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	13
施策名	第1施策	生涯学習関連施設の整備	年度

## 2 実施根拠及び関連法令等

図書館法、市図書館条例
-------------

## 3 事業概要

(1) 事業の目的 高度情報化社会に対応し、電子情報提供サービス事業を実施する。	(2) 対象(誰、何) 一般市民
	対象数
(3) 平成13年度事業の内容 機器の設置 1台 CD-ROMの購入 58枚 利用状況 203人(H13.8~実施)	(4) 総合計画・実施計画における概要
	(5) 個別計画の概要
	計画名
	計画年次 年度~ 年度

## 4 評価指標

指標名	購入目標達成率	利用率
指標式	購入予算執行額 / 購入予算額 × 100 4,055千円 / 4,055千円 × 100	利用者数 / 利用可能時間枠数 × 100 203人 / 3,304枠 × 100
指標設定の意図	電子媒体資料の充実度を把握する	必要度、活用度を把握する

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a 100	b 100	100	
指標			c 6	d 20	20	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額		4,659	4,669	2,542	
	人員・時間数		58時間	65時間	48時間	
	人件費		221	232	139	
	その他経費		0	0	0	
	合計	0	0	4,880	4,901	2,681
特定財源			0	0	0	

6 個別評価

(1) 達成度・・・目標をどれだけ達成したか			
評価 C ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 65.3%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
a	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	c	$\frac{6.1}{20.0} \times 100 = 30.5\%$
b		d	
理由 : CD-ROMは、特に図書では抽出困難な事項の検索に有効であるが、まだ資料数が少ないため、利用率が低い。			
(2) 必要性・・・時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 電子媒体(CD-ROM化された資料)のメリットは、判例大系、新聞雑誌記事調査等、項目検索に極めて有効で、時代に即したサービスである。	
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		
(3) 経済性・効率性・・・費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 : 利用率を更に高めるため、PR、資料の充実等をすすめる。	
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		
(4) 事業の代替性・・・県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 市民の身近な施設に設備されていることが必要である。図書館職員のレファレンス資料としても活用されている。	
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		
(5) 市民満足度・・・対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 : 利用者の満足度は、CD-ROMの新鮮度、種類の充実度に比例する。	
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		
(6) 有効性・・・当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 : 図書資料以外の資料・種類により図書館資料の充実を行っていくことで、より幅広く高度な市民ニーズに対応が可能となる。	
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 購入対象の選択を十分に行い、また、内容の更新を必要とするものの補充等を行うことにより、資料の価値を高めていく。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 :</p>

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	説明	今後の進め方
			<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
			図書館は、生涯学習や学習活動を支援する社会教育施設として、より多くの資料を収集し、高度情報化社会の進展に伴う多岐多様な市民のニーズに即時対応できるよう、本事業を継続する必要がある。電子媒体による資料提供については、案内や市民への利用サービスを積極的にすすめていきたい。

8 二次評価における変更点

--